

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none">・保育理念について全職員にわかりやすく話をして再度確認しているが、理念をしっかりと理解できていないところもある。話し合いをもう一度行い、保育教諭の考えを同じにして子どもたちが困らない保育が展開できるよう取り組んでいく。・職員の子どもへの言葉かけ、接し方が気になるところがあるため、常に気付きがもてるよう心掛ける必要がある。・保護者支援・子育て支援のやり方を工夫していかななくてはならない・一人ひとりに寄り添いながら、人としての尊厳を大切にしてい
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none">・気になる点など常に情報交換し、共通理解を持つようにした。その中でお互いの気づきなどを話をしたり、アドバイスを行うようにした。・年齢ごとの発達段階の理解ができていない部分があるので会議を開いて勉強していかななくてはいけない・年長児については、保護者との個別に面談を行い、小学校での基本となる生活面を主に指導しスムーズな就学に向けて計画した。・子どもの発達段階等を保護者へ伝え、情報発信をしていく
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none">・日頃の生活の様子をお便りや写真などで知らせてきたが発信する写真の工夫を考えていかななくてはいけない。・アプリを活用し子育てに関する情報を周知したり、関係機関と連携し必要に応じ対応を行っている。・個人面談等で子どもの様子を知らせ、一緒に子育てしていけるようにしたい。要望等を聞いていくようにし改善していきたい・保護者に寄り添い子育ての相談がしやすい雰囲気を作ることが大事である。
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none">・保護者の様子を見ながら声をかけ、個人面談を行うことで園への要望、困り感を引き出せる雰囲気作りを心掛けていくことの必要性を感じている。・保育の質の向上のため、園内研修、外部への参加に引き続き取り組んでいく。職員間のコミュニケーションがより良くなるように対話を心掛け取り組んでいく。・基本的な保育の考えを同じ方向にむいて取り組んでいくようにする。